東由利村報

No. 95　　1965・5・15

発行
東由利村役場
編集
畑山伝二郎
印刷
KK本間印刷所

ゼミナール開講式
学習の自主性が基本

上　遠藤さんの講話　下　平板測量実習

昭和40年度本村農業近代化ゼミナールの開講式は5月1日、斎藤県農林部長参列のもとに行われた。

本年度のゼミ学習計画は、昨年度実施の結果にかんがみゼミナール生の学習に対する自主性を盛り上げることを眼目として立案された。このために集合ゼミナールを年間6回に減らし、地域学習団を設けてその地域の共通課題に取組むこととし、袖山12名・山崎9名・黒沢24名・宿15名・住吉12名を設け、外に酪農コース20名・稲作コース15名・家政コース21名、計128名の編成とした。学習の基本方針は科学的・具体的な基礎の上に学習を進めることとし、参加者の希望により、農家簿記や労働日記・酪農日記の記帳平板測量などを取り入れた。開講式に引つづき農林部長の記念講演（別項）を聞いた。

冷害対策座談会

午後は村内篤農家・農業改良普及員をかこむ冷害対策座談会を催うした。出席者は、遠藤徳太郎・小野作右工門・佐々木宇一郎・高橋重助・菅原鶴三郎・渡辺隆蔵の6氏と農業改良事務所長・中村普及員で、始めに遠藤徳太郎氏の〝異常天候と私の体験〟という長年にわたる調査資料の発表あり、ついで篤農家各位の体験に基づく切実なる事例の発表あり、両普及所員の適切な指導と相まって、稲作に対する意欲が高まった。

話し合いの要点

○今年の冷害はどんな姿で来るか～①有効穂数の不足②病虫害の多発③幼穂形成期の低温などであろう。

○苗代の腐敗病、水銀剤の千倍液を坪当り5合位を撒布する。保温剤ＯＩＤを使うと効果が著しい。

○畑苗代～高温障害のおそれあり、ビニールの開閉に格段の注意を要する。ビニールの中にもイモチ・白班病が発生するから消毒は怠らぬよう、温度は25度以上にするな。

○除紙～1葉半の頃が適期、時期を失すると半日でも2葉目が伸び過ぎて倒伏の原因となる。紙をとったらすぐに追肥硫安坪当り20匁位やること

○本田施肥～窒素を減らし燐酸・加里を増す。施肥基準の一例、窒素1に対し燐酸1.3～1.5、加里1～1.2、化成肥料は成分計算をして不足分は単肥で調整する。

○6月20日前後はイモチ発生の最盛期だからこの頃は追肥をするな。

○除草剤はニップがよい。但し草が見えるようになってからでは効果がない。田植直後にやれ。留草にはＭＣＰを使ってもよい。ＰＣＰは発育をおさえるから使うな。

農業共済組合
総代当選者
総員45名

4月11日執行の選挙による当選者次のとおり

▷住吉選挙区、佐藤末二郎・小松謙吾・横山松男・佐藤銀一郎・小野与治郎・横山慶蔵佐藤貞一・佐藤与吉▷玉米〃小松良一・小松万登・小松亥一郎・小松久一郎・荘野徳一郎・小松藤吉・佐藤貞次・小野民次郎・佐藤盛永・畑山文一郎▷袖山〃、鈴木盛・佐藤久男▷老方〃、小松三喜雄・小野次郎・小松稔穂・小野弘・小松修治・木島好元・佐藤粮二・畠山忠一▷蔵〃、小笠原豊吉・阿部善信・阿部誠也・千葉欽一・木島富三▷法内〃、阿部武男・遠藤末松・千葉長吉・佐藤勇雄▷宿〃、小野一雄・小野巣蔵・佐々木一郎・高橋米作・佐々木智・大庭喜右工門・小松作一郎・木嶋冨次郎

部落長会議
納税成績大きく伸びる

5月7日よろこびの部落長会議が開かれた。他年村をあげての努力目標であった納税実績が大きく伸びて、連続10年完納11部落を始め、本年度新規完納10部落を加えて、合計61部落、残りの新沢・五海保・杉森の3部落も今1歩というところまでこぎつけた。従って3月末日現在の納税成績は93.6％に達し、県内72市町村中の17位となった。開会と同時に完納部落全部に表彰額を贈呈して心からなるよろこびを共にした。

今後の課題としては、これまでの年度末完納から一歩前進して納期内完納に切りかえ、税行政本来の姿に乗せるよう努力することである。

協議中に出た住民側意見

①狭い村道に大型車がはいるので側溝など破損が甚だしい。その対策

②環境衛生用薬剤の受領に手数がかかるまとめて配布出来ないか

③国保税の急増の理由と割宛基準を承りたい

④子どもを道路で遊ばせないために校庭を開放出来ないか

側溝をつぶすような大型車を乗り入れた場合はすぐ役場に知らせてもらいたい。

衛生用薬剤は時期により種類も用途も違うのでまとめて配布は困難である。国保税の増額は主に全家族7割給付になったためです。賦課基準は、世帯均等割と資産、所得割が半々である。なお本年からの増額分は大体1戸平均2,200円位となっています。

子どもを道路で遊ばせないことは何よりの交通事故防止であるから学校ともよく話し合って善処します。

若さを賭けて
東由利村青年会発足

4月25日東由利村青年会は遂いに発足した。去る3月17日の青年集会で「単青を廃止して東由利村青年会を発足させる」という基本方針を決定し、選任された運営委員によって鋭意運営方法を検討していたのであるが、準備成って愈々発足に踏み切ったものである。

この日快晴、豪雪によるおくれた苗代作業の真只中で、出席を懸念されたのであったが、会員の熱意は高く、登錄人員94名中出席者87名、午前10時より午後5時まで昼の休みもなく、熱気あふるる討議の末、次の事項を決定し、東由利青年会の結成大会を挙行した。

目　的

単青による地域的親睦より全村的親睦へ、自己形成に努力しながら広く諸団体との連絡を密にして村造りを推進する

本年度事業計画

1、青年駅伝大会（大琴・住吉間）
2、体育大会（陸上競技）リズム大会に合同
3、青年議会
4、夏季青年交流会～1泊2日本会主催郡内に呼びかける
5、青年祭
6、青年会誌発刊
7、会員の研修派遣
8、村外郡外青年との陸上大会
9、会員間の慶弔（会員意識の昂揚を図る）
10、青年全体の陸上大会
11、研修旅行（神宮寺試験場）
12、手芸・着付講習

役　員

会長、鈴木憲一、副会長、工藤賢一、小松正武
体育部長、阿部幸悦、副会長阿部勝男
文化社会部長、大日向淳男　文化副部長、畠山紀子
家政部長、小松正子、副部長畠山光子
監事、畑山作喜、阿部力
事務局
事務局長、佐藤孝一郎、庶務伊東正志、会計菅原賢治

歳入歳出予算

134,000円

苗代に病害が出た
薬剤撒布を早く

水苗代や折衷苗代に苗ぐされ病、畑苗代に立枯病が出て来ました。この伝染は極めて速く、時間を争う問題ですから、早期発見と素早い手当が必要です。使用薬剤はルベロンか水銀乳剤、先づ十分に水を落して坪当り3～5合位をジョロでかけ、6時間位たってから水をかければよい。

おそろしい
山火事をなくしましょう

本年もまたおそろしい山火事の危険期となりました。御承知のように森林は一朝にして成るものではありません この大切な森林も不注意による山火事によって失われるものが少なくありません。

①山火事の原因は
1たばこの吸殻の不始末
2山でのたき火
3採草地えの無届火入
が主なものです。

②山火事をなくすため次の事がらを守って下さい。
1採草地の火入をやめて、草地の高度利用を推し進めて下さい。
2林野の火入れは必らず村長の許可を得ること。
（村長の許可を得ないで火入れをすると処罰せられます）
3許可を得た火入れであっても乾燥が甚だしい風の強い日はやめること
4火入れが終っても残り火がなくなってから引き上げること。
5たばこの吸殻はよく始末すること。
6山でのたき火は完全に消すこと。

林野への火入れは公有、私有にかかわらず必らず村長の許可を得てから実施するように

牛の人工授精について

去る5月6日の人工授精運営委員会で次のとおりにきまりましたのでお知らせします

1授精師は畑山昇三・伊藤勝見・遠藤恒男の3名とする。
2授精料金は前年同様乳牛2千円・和牛1,500円とする。但しこれまではこの料金で妊娠するまで授精しておりましたが、精液代金等の関係で、6カ月で打切り以後改めて授精料を徴収することにしました。
3、2回目以後の出張料は従来通り1回につき100円とする。
4妊娠鑑定等は獣医師法との関連もありますので、必ず獣医師の指示を受けないで授精師の鑑定を受けるようなことのないようにして下さい。

苗代イモチの消毒は共同で

イモチ防除は見えてからではおそい。手間と費用のかからない苗代で完全防除を—薬剤は粉剤でなく液剤使用のこと。少くともこれから2回行うこと。

国民年金の規則
知らないと損をする

2年たつと保険料は納められなくなる…保険料を国民年金印紙で納めることの出来るおわりの月は、毎年度末の翌月4月までで、それを越すと納付書を役場で書いてもらい郵便局へ現金を持って行って納めなければならなくなります。もしそれもおこたっていて2年たつと、その年度分は納めたくとも納められなくなり、はては年金を受ける権利をも失うことになります。これは被保険者から納められた保険料の半額を国が負担する制度も、被保険者に、年金を受ける意志がないと認められて、国の恩恵をご破算にしてしまうことです。

年金を受ける権利が出来たらすぐ請求を…年金を受ける権利が出来たのをそのままにしておくと、5年たてば時効になって年金は受けられなくなります。なお死亡一時金だけは、時効は2年です。

諸届は正しく早く…満20才になった時、職場の年金制度からぬけた時は**資格取得届**、職場の年金に加入した時は**喪失届**、**住所変更届**、結婚などは20日以内に、加入者がなくなった時は14日以内に**死亡**届を出すことにより、死亡一時金か母子年金が出ます。

牛馬籍の届出

牛馬の飼養者は飼養している牛馬について次の事情が生じた時は、**20日以内**に届出なければならないことになっていますが、最近では５～６カ月以上も届出を怠っている飼養者がおるため、牛馬籍の整備、村畜産業務等に重大な支障を来しています。

そのため村では牛馬籍の届出は必らず期限内にするよう強く望んでおります。

届出をするのは次の場合

１牛馬を飼養することになったとき
２牛馬を売り渡したとき
３牛馬が出生したとき
４記載事項に変更があるとき
５その他必要なとき

◇◇◇◇◇◇ 定期家畜市場

４月30日

	出場頭数	最高	最低	平均
雄	18	60,200	35,600	46,000
雌	26	54,100	33,000	41,100
計	44			43,100

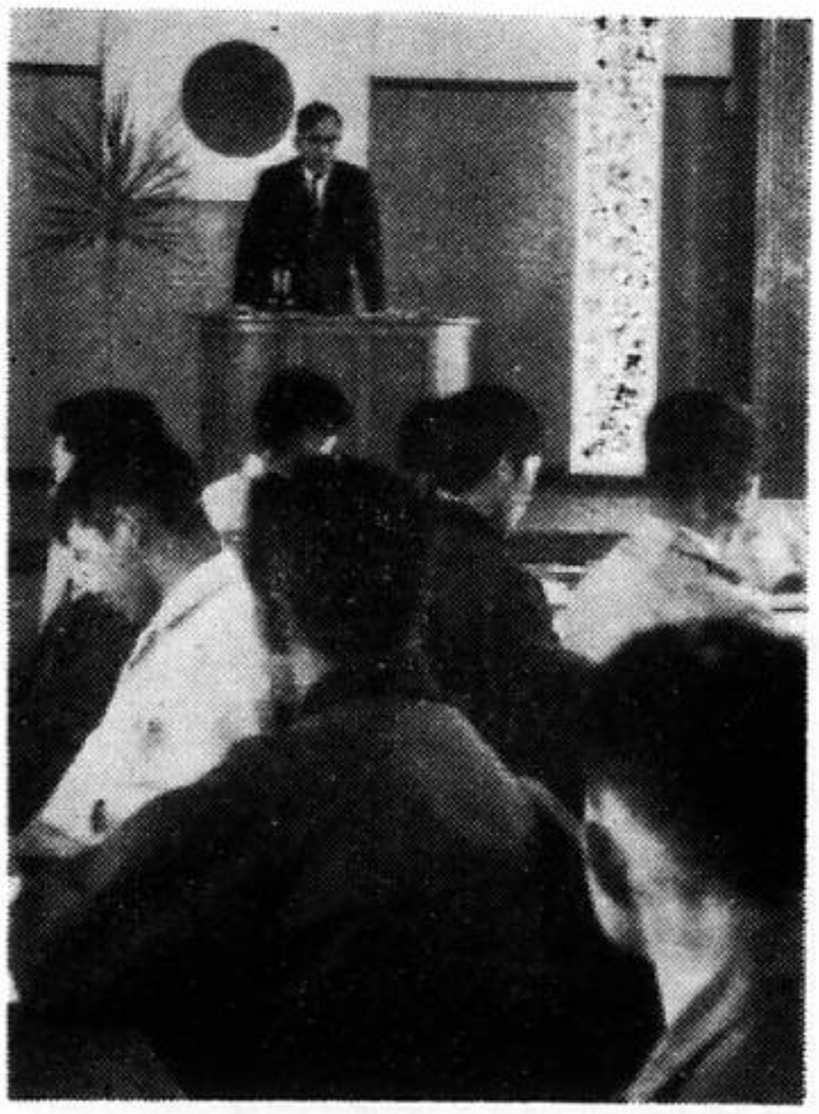
売上総額1,898,300円

東由利村林業研究会

40 年 度 総 会

東由利村林業研究会では40年度総会を４月13日役場で開催した。会員は山持の若い長男達で、一人一人研究課題を分担して責任をもって実践研究しているが、総会で決定した本年度の事業は次のとおりである。

１機関紙の発行～９月、12月
２研究会、早期育成樹種と林地肥培・間伐実習（７月）
３講習会、造林機械の操作
４優良林業地の視察
５他グループとの技術交流
　全郡交流会に全員参加
　全県交流会に二名参加
　西目村林研との交流会
６個人研究の推進と反省会



山 を 拓 け

農林部長講演

農業は駄目だというが

新規に農業をやろうとすれば、自立農家最低１町５反としても土地だけで500万円、設備を合せると７、８百万円、住宅などを加えると最小限１千万円はかかる。ところが農家はすでにそれを持っているのである。

本村は３千余町歩の未利用地を持っている。これを活用すれば農地は現在の３倍となる。西日本の農業生産が落ちて来ているので、東北は農業の中心となる。日本の農業生産は乳、米、麦、飼料が足りない。乳は山を利用して夏山冬里酪農に切りかえなければならない。

農業後継者の確保

新たに農業人口に加わる人人はここ数年間、１年３千人位になっているので、30年後には９万人と見る。現在は25万人だから大体３分の１となるが、それで十分やって行ける。農業後継者の育成対策としては、経営意欲を持たせることが第一である。そのためには、①親子の共同経営②部門別経営③家庭生活にゆとりある経営④食生活の改善（動物性蛋白を増す）などが考えられる。

健康な稲づくり

今年のような年こそ腕前の見せどころである。禍を転じて福とするよう。たくましい意欲を燃やして取組んでもらいたい。

石 高 嫁 の 会

10周年記念祝賀会

５月７日、石高嫁の会では創立10周年記念祝賀会を、この会の生みの親、本荘農業改良普及所生活指導員高橋正子氏を招いて催うした。

今から10年前、月に一度の集りさえも容易ならぬ抵抗のあった頃に始めたこの会である。それから10年、農繁期の外は毎月の集りをつづけて来た。当時の嫁さん達も今はりっぱな母となり主婦となった。全村に若妻会が普及している今日から考えると、誠に感慨深いものがある。

重要会議の合間に参列した村長より「若妻学習団の草分けとして発足し、以来10年たゆみなき努力をつづけて来た業績は誠に敬服にたえない。今後も家庭づくり村づくりの中核として精進をつづけられたい」との激励の挨拶あり、高橋先生を中心に、つきることなき思い出を語り合い、今後の方向、特に村行政との結びつきなど、明るい希望に満ちた前途に向って、決意も新たに歩みを進めることにした。

下 郷 中 学 校

交通安全実施要項

１期間、５月11日～５月20日
２実施目標
　(イ)車は左人は右、一列励行
　(ロ)路上で遊ばない、遊ばせない（特に国道）
３実施内容５月11・15・19日街頭指導
　12日、交通教室～グランド
　14日、自転車々体検査
　17日、標識樹立
　20日、反省会希望要望まとめ
４街頭指導実施要領
１班４名、午前７時より30分間次の場所で行う。老方、新町、新田、蔵、大琴、宿、中学校前、腕章、肩章をつけ呼笛を用い記録をとる。
５ポスター、標語
１千枚を目標に全校生徒で作製し、部落子ども会員がはる
６毎月の交通指導
上記の要領で毎月一日に行う
７自転車通学者の必らず守ること。(イ)左側一列励行(ロ)片手傘さし運転をしない(ハ)必要以上のスピードを出さない(ニ)手信号は必らずやる(ホ)二人乗りは絶対にしない

以上の事項は全生徒、全職員が一致して努力する。

弔 慰 金 を 寄 付

民生児童委員佐藤イッ子さんは去る２月11日なくなられましたが、県社会福祉協議会民生児童部会からの弔慰金１万円を喪主玉治氏から、本村社会福祉協議会へ寄附されました。

写真は四月十四日に行われた春の赤ちゃんコンクール

結核予防婦人会

県連合会結成大会

4月15日県民会館で行なわれたこの会へ御臨席の結核予防会総裁秩父の宮殿下より御下賜のペナント
御歌「やまいなき世も夢ならじ家まもるおみな目ざめて力つくさば」

内部障害にも年金

今すぐ年金請求の手続を

国民年金法におけるこれまでの障害福祉年金の中に、昨年8月1日から、次のような障害が加えられました。これを内部障害といいます。

1結核による身体の機能障害
2結核により長期にわたって安静を必要とする病状
3喘息、慢性気管支炎などの呼吸器障害（結核性のものを除く）
4精神の障害（異常性格、ノイローゼ、精薄を除く）そして、その障害の原因となった日（その日より前にこれ以上よくなる見込みがないとわかったらその日）において日常生活が自分一人で出来なくなった20才から69才の人は障害福祉年金の支給対象となり年額21,600円が支給されることになりました。

支給を受ける手続きは次のとおりです。①手続をするところ—役場②年金が支給されるか、されないかをきめる人—知事③手続に必要な書類—障害福祉年金裁定請求書・医師の診断書・戸籍抄本・住民票の謄本。

本人又は身寄のかた、近所のかたで、このような状態の障害のある人が自宅や病院におりましたらすぐに役場で年金支給の手続きをして下さいなお、拠出年金に加入している人であって、昭和37年5月1日以降に内部障害となった者は保険料を完納していますと拠出制の障害年金を受けることが出来ます。いずれにしても該当者は1日も早く手続きをして下さい。

子畜の庭先取引しない

家畜商組合の申し合せ

県家畜商組合由利支部（組合員135 名）の通常総会が去る4月3日開かれ次の申し合せをした。

申し合せ決議事項

①組合員は、子畜の庭先取引は絶対にしない
②県の子畜検査条令に違反しない
③やむを得ない事情で、庭先で売買する時は、農協及び畜連に連絡し、検査を受け、市場外取引歩金を納める
④この決議に違反した組合員は、違約金5000円を組合に納める⑤違約監視のため、徴罰監視調査員を置く
⑥調査員の調査に応じない時は除名することが出来る

このように役場も農協も家畜商も一体となって正常取引に努力しているのであるから、一般飼育者も市場による安定した取引をすることが強く望まれている。

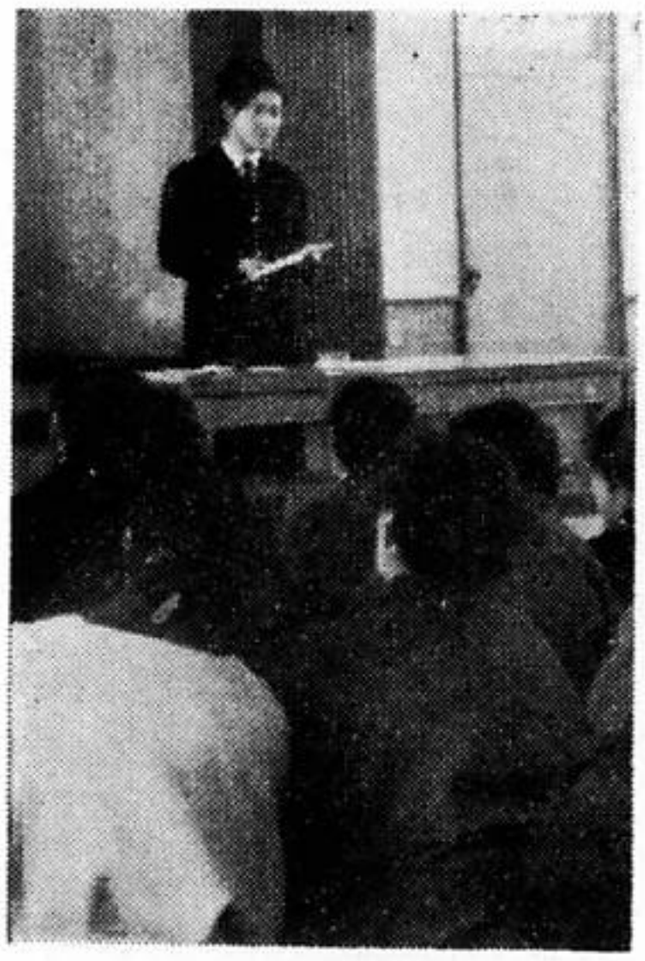
道徳を高める運動中です

だれでもかんたんに出来る小さな身近かなことから、道路や流れをきれいにするようなことから始めましょう。

稲作りを激励

知事道路視察

県内道路視察途上の小畑知事は、4月16日午後2時役場に立寄られ、出むかえの村長・議会議員・村民有志に対し、非常に忙しい時間を割いて要旨次のような挨拶をされた。○道路は大体よく整備されているが、来る度に気の毒に思うことは、村道の橋が悪くなっていることである。出来るだけ援助したいと考えている
○基幹林道は5月20日に完工することは喜ばしい。
○異常豪雪の被害については実に心配だ。県でも十分に配慮しているから、みなさんの努力によって、本年の目標反当1俵増を達成せられたい。
○未利用材野8万5千町歩、砂丘地を加えると10万5千町歩を開発するために、本年は草地4カ所を県営で造成し夏山冬里酪農を試みる。
造林についての入会地の利用については市町村に出来るだけのお手伝いをする。



田植期に多い密造酒

今年も田植の時期になりました。密造酒は例年この時期に多く、本荘税務署管内の1年間の違反件数のうち16％以上はこの時期に出しております。法律をおかしからだを悪くして早死のもとをつくり、子どもの学力にまでひびく密

青少年育成を痛感

東由利村婦人会総会

東由利村婦人会の総会は去る4月9日役場で開催、村長代理助役から「村の今年の大事業は農業構造改善である。これは天の恵み地の恵み人の力の3者1体とならなければ成果を収めることが出来ない。次は土木殊に道路の整備であり、更に学校統合発足の年でもある。皆様の全面的ご協力をお願いする。なおこの豪雪の被害をはねのけて良作をとるためには絶大な努力を覚悟すべきだ。どうぞ女の美しさ、母としての愛情を十分に発輝して、よき世の中の建設につとめられたい」との挨拶あり、予算決算本年度事業計画等の審議を終え、午後は本荘警察署少年係主任井島甚之丞氏、婦人補導員山崎澄子さんの講話を聞いた。

この両氏の講話により非常に大きなショックと感動を与えられ、婦人として解決しなければならない多くの課題をかかえることになったが、取分け子どもの非行防止以前に先づ母親の素行をおさめること、万引の原因の一つになる嫁のお小使の問題の解決などは、地域総ぐるみの努力によらねば解決出来ないから、老人会から子ども会までの合同の会合に、この両講師のお話を願い、青少年の健全育成に決意を新たにして取組むことを申し合せた。

造酒は追放いたしましょう
密造酒は短命のもと

密造酒には私達のからだをしばむむ一番恐ろしいフーゼル油がたくさんはいっており体内でこんな働きをします
1頭痛を伴う悪酔をさせる
2神径痛を起こさせる
3特に肝臓を弱らせる
したがって濁酒を飲む人は長生しません。家内そろって楽しく暮すために密造酒はやめましょう。（本荘税務署長）